

能登半島地震 被災地のいまから教訓学ぶ



輪島消防署屋上から自立飛行型ドローンを注視する子ども記者達

石川県能登地方を震源とした能登半島地震。大きな被害を出した現地では、2年以上経ったいまも、懸命な復旧作業が続いています。今年7月28日には熊本県で最大震度7を記録する大地震がありました。最大で死者29万8千人、全壊焼失棟数235万棟という未曾有の被害が想定されている南海トラフ巨大地震など自然災害に備えるためにはどうしたらいいのか。どう、命を守るのか。愛知県、岐阜県に住む子ども記者9人が、多くのものを失った厳しい現実を受け入れ、希望を持って復興と向き合う能登地方を訪れ、備えの大切さなどを学びました。

子ども記者リポート

- 宮城県仙台市 アイリスオーヤマ
- 高知県南国市 フタガミ
- 石川県七尾市 高澤商店
- 石川県輪島市 ホテルルートイン輪島
- 石川県輪島市 KDDI/輪島消防署
- 石川県輪島市 石川県/輪島消防署

子ども記者は最初に、東日本大震災での経験を商品開発に生かしている「アイリスオーヤマ」と、地元の自治体と協力して出張防災セミナーを開催している「フタガミ」の担当者から、リモート会議システムを使って話を聞きました。アイリスオーヤマでは、被災経験を生かした防災アイテムのほか、災害が起きてペットと安心して過ごせる防災セットを開発しました。高知県でホームセンターを営むフタガミは「命を守る備え」を広めようと、地元の自治体と協力して防災セミナーを開催しています。両社の防災に対する取り組みについて話を聞きました。

現地取材でまず足を運んだのは、石川県七尾市で創業以来100年以上和ろうそくを作り続けている「高澤商店」です。明治時代に建てられた店舗は国の登録有形文化財。地震で倒壊しましたが、解体はせず可能な限り部材

を再利用し、昔と同じ工法で修復しています。再建や能登復興への思い、伝統を守ることで希望を見出そうとしている店主の決意を聞きました。

輪島市では被災しながらもすぐに営業を再開した「ホテルルートイン輪島」の支配人から、災害発生後も迅速に対応できる備えや体制のほか、震災発生6日後には宿泊客を受け入れた経験談を聞き、質問もぶつけました。輪島消防署では、屋上に設置されたドローンポートから飛び立つドローンのデモンストラクションを体験。展開に携わる通信会社「KDDI」の担当者、災害だけでなく行政での活用を期待する石川県の担当者にも取材しました。

石川県能登地方を震源とした能登半島地震。大きな被害を出した現地では、2年以上経ったいまも、懸命な復旧作業が続いています。今年7月28日には熊本県で最大震度7を記録する大地震がありました。最大で死者29万8千人、全壊焼失棟数235万棟という未曾有の被害が想定されている南海トラフ巨大地震など自然災害に備えるためにはどうしたらいいのか。どう、命を守るのか。愛知県、岐阜県に住む子ども記者9人が、多くのものを失った厳しい現実を受け入れ、希望を持って復興と向き合う能登地方を訪れ、備えの大切さなどを学びました。

石川県能登地方を震源とした能登半島地震。大きな被害を出した現地では、2年以上経ったいまも、懸命な復旧作業が続いています。今年7月28日には熊本県で最大震度7を記録する大地震がありました。最大で死者29万8千人、全壊焼失棟数235万棟という未曾有の被害が想定されている南海トラフ巨大地震など自然災害に備えるためにはどうしたらいいのか。どう、命を守るのか。愛知県、岐阜県に住む子ども記者9人が、多くのものを失った厳しい現実を受け入れ、希望を持って復興と向き合う能登地方を訪れ、備えの大切さなどを学びました。

石川県能登地方を震源とした能登半島地震。大きな被害を出した現地では、2年以上経ったいまも、懸命な復旧作業が続いています。今年7月28日には熊本県で最大震度7を記録する大地震がありました。最大で死者29万8千人、全壊焼失棟数235万棟という未曾有の被害が想定されている南海トラフ巨大地震など自然災害に備えるためにはどうしたらいいのか。どう、命を守るのか。愛知県、岐阜県に住む子ども記者9人が、多くのものを失った厳しい現実を受け入れ、希望を持って復興と向き合う能登地方を訪れ、備えの大切さなどを学びました。

石川県能登地方を震源とした能登半島地震。大きな被害を出した現地では、2年以上経ったいまも、懸命な復旧作業が続いています。今年7月28日には熊本県で最大震度7を記録する大地震がありました。最大で死者29万8千人、全壊焼失棟数235万棟という未曾有の被害が想定されている南海トラフ巨大地震など自然災害に備えるためにはどうしたらいいのか。どう、命を守るのか。愛知県、岐阜県に住む子ども記者9人が、多くのものを失った厳しい現実を受け入れ、希望を持って復興と向き合う能登地方を訪れ、備えの大切さなどを学びました。

石川県能登地方を震源とした能登半島地震。大きな被害を出した現地では、2年以上経ったいまも、懸命な復旧作業が続いています。今年7月28日には熊本県で最大震度7を記録する大地震がありました。最大で死者29万8千人、全壊焼失棟数235万棟という未曾有の被害が想定されている南海トラフ巨大地震など自然災害に備えるためにはどうしたらいいのか。どう、命を守るのか。愛知県、岐阜県に住む子ども記者9人が、多くのものを失った厳しい現実を受け入れ、希望を持って復興と向き合う能登地方を訪れ、備えの大切さなどを学びました。

石川県能登地方を震源とした能登半島地震。大きな被害を出した現地では、2年以上経ったいまも、懸命な復旧作業が続いています。今年7月28日には熊本県で最大震度7を記録する大地震がありました。最大で死者29万8千人、全壊焼失棟数235万棟という未曾有の被害が想定されている南海トラフ巨大地震など自然災害に備えるためにはどうしたらいいのか。どう、命を守るのか。愛知県、岐阜県に住む子ども記者9人が、多くのものを失った厳しい現実を受け入れ、希望を持って復興と向き合う能登地方を訪れ、備えの大切さなどを学びました。

石川県能登地方を震源とした能登半島地震。大きな被害を出した現地では、2年以上経ったいまも、懸命な復旧作業が続いています。今年7月28日には熊本県で最大震度7を記録する大地震がありました。最大で死者29万8千人、全壊焼失棟数235万棟という未曾有の被害が想定されている南海トラフ巨大地震など自然災害に備えるためにはどうしたらいいのか。どう、命を守るのか。愛知県、岐阜県に住む子ども記者9人が、多くのものを失った厳しい現実を受け入れ、希望を持って復興と向き合う能登地方を訪れ、備えの大切さなどを学びました。

石川県能登地方を震源とした能登半島地震。大きな被害を出した現地では、2年以上経ったいまも、懸命な復旧作業が続いています。今年7月28日には熊本県で最大震度7を記録する大地震がありました。最大で死者29万8千人、全壊焼失棟数235万棟という未曾有の被害が想定されている南海トラフ巨大地震など自然災害に備えるためにはどうしたらいいのか。どう、命を守るのか。愛知県、岐阜県に住む子ども記者9人が、多くのものを失った厳しい現実を受け入れ、希望を持って復興と向き合う能登地方を訪れ、備えの大切さなどを学びました。

石川県能登地方を震源とした能登半島地震。大きな被害を出した現地では、2年以上経ったいまも、懸命な復旧作業が続いています。今年7月28日には熊本県で最大震度7を記録する大地震がありました。最大で死者29万8千人、全壊焼失棟数235万棟という未曾有の被害が想定されている南海トラフ巨大地震など自然災害に備えるためにはどうしたらいいのか。どう、命を守るのか。愛知県、岐阜県に住む子ども記者9人が、多くのものを失った厳しい現実を受け入れ、希望を持って復興と向き合う能登地方を訪れ、備えの大切さなどを学びました。

石川県能登地方を震源とした能登半島地震。大きな被害を出した現地では、2年以上経ったいまも、懸命な復旧作業が続いています。今年7月28日には熊本県で最大震度7を記録する大地震がありました。最大で死者29万8千人、全壊焼失棟数235万棟という未曾有の被害が想定されている南海トラフ巨大地震など自然災害に備えるためにはどうしたらいいのか。どう、命を守るのか。愛知県、岐阜県に住む子ども記者9人が、多くのものを失った厳しい現実を受け入れ、希望を持って復興と向き合う能登地方を訪れ、備えの大切さなどを学びました。



広告特集

子ども新聞プロジェクト2026

子どもたち自身が取材して記事にまとめます。「気づき・考え・実行する」大切さを、同じ世代の子どもにも伝え、より多くの子どもたちが新聞を読んで、行動する力を育ててほしいと願っています。

企画：日本赤十字社愛知県支部・岐阜県支部
 広告企画・制作 朝日新聞社
 後援：愛知県教育委員会
 名古屋市教育委員会
 愛知県小中学校長会
 名古屋市立小中学校長会



～過去の震災から学んだ教訓を防災・復興につなげよう～

わたしたちの言葉で、未来に伝える

青少年赤十字では、全国の幼稚園、保育園、小中高等学校など学校教育の現場で「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」を実践目標として、子どもたちが自分で「気づき・考え・実行する」力を育てています。

生きる力を育む青少年赤十字

青少年赤十字では、「気づき・考え・実行する」ことを通して、自ら学び考える力を育てます。赤十字には国内外にネットワークがあり、様々な人とつながることができます。青少年赤十字の一員として、やさしさや思いやりの気持ちを育む活動に、一緒に取り組みませんか。

モンゴル赤十字社のユースメンバーと交流している様子
 (令和8年度 日本赤十字社愛知県支部 青少年赤十字国際交流事業)▶



人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

■子ども新聞に関する情報はこちら

ホームページ www.jrc.or.jp/chapter/aichi/youth/

× (旧 Twitter) アカウント x.com/aichi_jrc

子ども記者リポート① アイリスオーヤマ株式会社

被災経験が、会社の事業転換、そして担当者の商品開発につながった。
生活者の視点を大切に「もしも」に備えたアイテムを生み出す。



アイリスオーヤマ株式会社
BioC事業グループホーム事業統括部
ペット事業部 事業部長
栗石 きらりさん

その時の避難所ではトイレが汚いことなど困った経験をされた。
栗石さんに震災当時の経験を防災商品などの商

アイリスオーヤマは、食品から家電、住宅設備機器、ロボットなど約3万点の商品を開発している会社だ。宮城県仙台市に本社があり、2011年の東日本大震災では会社も大きな被害を受け、被災した社員もいたという。現在、ペット事業部長を務める栗石きらりさん(32)は宮城県石巻市出身で、高校3年になる年に東日本大震災を経験した。その震災の時の3日間、避難所生活をしたそうだ。

品開発に生かしていることなどを聞いた。

震災の経験生かして商品開発
くらしを守る防災アイテムも



平川 空記者

ここで大切になっているのは「生活者の視点」だという。「実際に被災した人から話を聞いて、こういうものがあつたらいいな、という声を参考にしている」という話を聞いて、私はこれはすごいことだと思った。

アイリスオーヤマでは、30年以上防災用品を販売しているが、東日本大震災以後、さらに力を入れるようになった。「日本が抱える社会課題を解決する製品やサービスを提供する」という理念で、新しい商品開発を決める会議では、社長のほか商品にかかわるすべての部門の人が参加して、機能、デザイン、価格などを検討し、スピーディな商品化を目指している。栗石さんも毎回、この会議に参加しているそうだ。

また、全国の自治体と防災の協定なども結んでいて、防災アイテムの情報提供やスムーズに物資の供給をするような体制を整えている。

私は、自分たちの被災経験から災害時に必要となる物資を検討し、これから起こりうる災害に備えた商品開発をしている。災害はいつ起きるか、わからない。私も「もしも」の時に自分でできることを考えていきたい。



スピーディな商品化を実現するための新商品開発会議

被災してもペットと一緒に過ごしたい。
そんな飼い主の願いをかなえるためにペット用防災セットが開発された。

災害が起きてもペットと一緒に
飼い主目線で「家族」の命を守る



近藤 愛椰記者

災害が起きても家族の一員であるペットと安心して過ごせるように、ペット用の防災用品の開発をしているアイリスオーヤマのペット事業部長、栗石きらりさん(32)に話を聞いた。

東日本大震災では、多くのペットも被災した。栗石さんも震災当時、実家で犬と猫を飼っていたそう。栗石さんによると、現代では、約2.7人に一人がペットを飼っている。環境省は、災害時のペットの避難については東日本大震災の経験から、飼い主の自己責任の下でペットを連れて避難する「同行避難」を推奨しているが、ペットと一緒に室内で避難できる避難所は少ないため、飼い主がペットの災害への備えをすることが大事なのだという。

アイリスオーヤマの調査ではペット用の防災セットの保有率は犬、猫ともに約2割にとどまっていた。持っていない理由で一番多かったのは「何を購入したらいいかわからない」で、約4割を占めた。そこで、アイリスオーヤマでは特に必要な15点をまとめた防災セットを生み出したのだという。犬用にはペットシーツやリードを、猫用には猫砂用スコップや猫ネットを入れた。今も猫を二匹飼っているという栗石さんは「飼い主の目線で、避難生活のストレスを少しでも減らせるように考えた」そうだ。防災セットが入っているかばんはショルダーバッグタイプで、避難時に運びやすいように工夫した。ゆとりのある設計で、ペットがふだん使い慣れたおもちゃや、好きなフードなどが約2、3日分、入るようにしているという。

私は、飼い主は普段から大切なペットの命に責任を持ち、正しい知識を持って備えをしておくことが重要だと感じた。それが、大切なペットと安心して安全に生活することにつながるのだと思う。



ペットはファミリー。
ペットを連れて避難する「同行避難」を推奨



つくろう。 ワクワクが育つ 遊び場を。

ふれたり、のぼったり、すべったり。
 あそんだり、くつろいだり、いやされたり。
 私たち内田工業がお届けするのは、
 子どもも大人もワクワクするような公園や、
 誰もが安心して気持ちよく過ごせる
 コミュニケーション空間。
 すべての人にとっての「大切な場所」を、
 今日も、私たちはつくり続けます。

公園は災害のときも “みんなを守る” 大切な場所になります！

地震や火災、大雨などの災害が起きたときには、地域の人たちが避難する場所となり、救助や避難に必要な道具を保管する場所としても活用されます。普段は地域住民が遊び、憩う公園として利用でき、災害時には水道や電気が止まった場合にも、地域の安全や暮らしを支える場所になります。そんな「防災公園」づくりも、私たちの大切な仕事です。



全国の「ワクワク」する
 遊び場が検索できます！

遊具・公園施設の総合メーカー
内田工業株式会社
<https://www.uil.co.jp>

[WEB]

[Instagram]



子ども記者リポート② 株式会社フタガミ

地域密着のホームセンターが住民の「命とくらしを守る」取り組みをしている。
地元自治体と協力して開催した出張防災セミナーは1200回以上にもなった。



株式会社フタガミ
ホームセンター部 防災アドバイザー
楠瀬 淳司さん

高知県に本社があり、県内でホームセンター17店舗を営んでいる株式会社フタガミは、地域密着の会社だ。災害が起きる前から地元市町村とフタガミが協力して実施している「命と暮らしを守る」取り組みについて、ホームセンター部防災アドバイザーの楠瀬淳司さんに、話を聞いた。

フタガミは高知県内の12の市町村と、災害発生時の被害を減少させることを目的とした「協力協定」を締結している。この協定は災害発生後に助け合う約束をする一般的な「防災協定」とは異なり、全国でも珍しい協定だという。この協定を受けたと私は思った。



命を守る備えを伝える防災セミナー

楠瀬さんによると、フタガミと市町村が協力することで防災課の職員とつながりができ、セミナー開催までの効率が良くなったそうだ。セミナーでは防災用品の選び方や使い方、災害前の準備の必要性を伝えている。時には、お客様の家まで行って、家具を固定する手伝いをすることもあるという。このような取り組みは、地域に根付いた会社だからこそできることだ。なぜ、備えが大切なのか。それは地震が起きる前にさまざまな被害を想定し、それに対する対策をすることで被害を減らすことができるからだ。楠瀬さんは「備えは自分を守る準備だと多くの人に伝えたい」と話した。

地域と協力して守る「命とくらし」
災害前に学ぶ備えの大切さ



我妻 月華記者

ホームセンターが、出張防災セミナーを繰り返し開催している。
そこでは、かけがえのない命の大切さが語られていた。

出張防災セミナーを開催している株式会社フタガミの防災アドバイザー、楠瀬淳司さんに、話を聞いた。

私は今回の取材で、「防災」の重要性について深く学ぶことができた。また、それを広く伝えるために奮闘している楠瀬さん、そしてフタガミの思いを知ることがもできた。



防災セミナーでは地震の揺れを体験

楠瀬さんの言葉通り、私も「知って」「体験した」備えの大切さを「考えて」、まずは、周りの家族や友人、知り合いなどにしっかり伝えるように「広める」ことから、始めようと思う。

セミナー通じて広げる「防災の輪」
大切になっている4つの「行動」伝え



林 良磨記者

災害のとき、どんな水が必要？

もちろん
飲み水！



でも、飲み水だけ？



手洗い



からだ洗い



食器洗い



洗濯

...

生活用水って、
防災バッグに
あるのかな？



アクアリピュア®は、
川や雨水、お風呂の水から
からだに安全な生活用水・飲料水が
5分で作れる浄水キットです

一箱で
220 リットル
対応



おうちの人と
いっしょに
考えてみよう



◎生活排水、工場排水、海水、農薬、除草剤、その他有害物質を含む恐れがある水は、健康被害を引き起こす恐れがありますので、使用しないでください。
◎成分に含まれている炭酸ナトリウムが原因で水が白くなる場合がありますが、安全上、特に問題ありません。
◎粉末は湿気を吸いやすいため、開封後は使い切ってください。



子ども記者レポート ③ 株式会社高澤商店

100年以上続く七尾の和ろうそく店は地震で店舗が倒壊した。
「伝統の灯は消さない」と、元の場所、元の姿での再興に挑む。



株式会社高澤商店
代表取締役
高澤 久さん

高澤ろうそく店は、石川県七尾市の一本杉通りで、100年以上も前から続く老舗だ。代表取締役の高澤久さん（53）に、震災当時の様子や営業再開、店舗の修復への思いを聞いた。

店で取り扱っている和ろうそくは、県内では高澤ろうそく店だけが作っていて、炎が風に強いのが特長だ。ろうは木の実から絞り出し、芯は和紙で作られている。和ろうそくの中心部分は空洞になるように作っており、その空洞を空気がつたわり、炎が大きくなる仕組みで、燃えやすくなる。そのようなところまで考えられているのが、すごいと思った。



元の場所での再開を目指し、残った柱や部材を生かして再建が進められています。



和ろうそくは植物から採れるロウを主原料にした、自然の素材と職人の技が生きる、昔ながらのろうそくです。

使える部材は再利用して修復 震災乗り越え「新しい物語」紡ぐ



藤田 絵珠莉 記者

店の建物は明治時代の終わりに造られた。二度の大火事を経験した教訓から、火災に強いように土壁でできており、少しでも被害を減らすための工夫がされていた。

2024年1月1日の能登半島地震では、ろうそくの製造工場と販売している店舗が被災した。地震発生後、約2か月、断水が続き、洗濯、入浴、トイレの

排水が一切できない状態で、火災には強いはずの土壁も震度7の地震には耐えられなかったという。

そうした被害のなかでも、高澤さんは震災から4日後の1月5日には店のホームページに「必ず建て直します」と投稿した。「こんな時だからこそ、希望が持てるニュースを届けたい」と、2027年の夏ごろを目

標に、元の店のあった場所で、再利用できる部材を使って、できる限り元のかたちに近い店舗を再建する予定だ。震災で傾いた柱も調べた結果、使えることが分かったという。

高澤さんは被災後、将来のことを考えると不安になったこともあったが、得られたものもあったという。高澤さんの「一度壊れてしまったとしても、変わらぬ場所の変わらぬ建物で営業を続けていくという新しい物語が地震があったからこそ始まる」としているという言葉が印象的で、とても感動した。

どんな時も、人を、暮らしを、ビジネスをつなぎ続ける。
それは、簡単なことではないかもしれない。

だが、私たちならできる。
積み重ねてきた高い技術力と多彩なサービス力はそのために存在する。
一人ひとりの情熱が、一日一日の挑戦が、今日までの限界をこえる力だ。
さあ、行こう。つなぐ先にいる、すべての人のために――

つなぐ力で、未来を動かす。
私たちは、つなぎ続ける。



企業紹介動画は
こちらからご覧いただけます



人と設備とデータを繋ぐ シーキューブ株式会社

広告

せい かつ しゅう かん びょう

びょう き

生活習慣病ってどんな病気？



せい かつ しゅう かん びょう
 生活習慣病って
 よく聞くけど
 どんな病気？

せい かつ しゅう かん びょう まい にち せい かつ げん いん びょう き
 生活習慣病とは、毎日の生活のしかたが原因でかかる病気のことです。
 たとえば、次のようなことが原因でおこります。

食事

ひつ よう い しょう た す もの た かたよ しょう じ
 必要以上に食べすぎたり、好きな物ばかり食べて偏った食事をしていると
 体に悪い影響があります。

運動不足

うん どう ぶ そく す からだ うご きん にく へ
 ゲームなどのやり過ぎで、体をあまり動かさないと、筋肉が減ったり、
 体が弱くなったりします。

ストレス

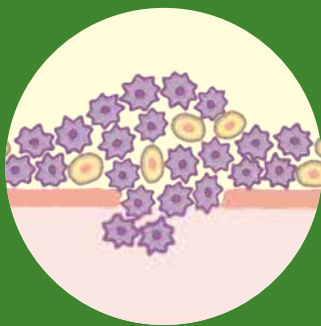
ストレスというのは、いやなことや寝不足が続いて心が疲れることです。
 心が疲れると、体にも悪い影響を与えます。



せい かつ しゅう かん びょう つぎ びょう き し
 生活習慣病には次のような病気があることを知っていますか？

「がん」

からだ なか さい
 体の中に、コントロールできない細
 胞が、増えてかたまりを作ったり、
 体中に散らばってしまう病気です。



「血管の病気」

あたま しんそう けっ かん
 頭や心臓などの血管が、かたくなった
 り、細くなったり、つまったり、また、
 こぶができて破れたりする病気です。



びょう き ふせ よ しょう じ うん どう あせ な こと たい せつ
 これらの病気を防ぐためには、バランスの良い食事をとり、運動をして汗を流す事が大切です。
 また、日々の生活のストレスをためないようにすることも大切です。



生活習慣は、子どものときに身につきます

せい かつ しゅう かん びょう こ
 生活習慣病にならないためには、子どものときから
 良い生活習慣を身につけましょう。
 しっかり食べ、運動し、勉強しましょう。
 そして、調子が悪いときには早めにお医者さん
 にかかりましょう。



ライフ共済

おすすめ

0~29歳
 の方に

月々
 掛金

500円

おすすめ

30~64歳
 の方に

月々
 掛金

1,000円

A10775 2026年6月作成

月払掛金と 保障内容例

		おすすめ 月払掛金 500円 0~30歳間 30歳になって最初に迎える3月末日まで (29歳までに申し込んだ場合)	おすすめ 月払掛金 1,000円 30~65歳間 65歳になって最初に迎える3月末日まで (64歳までに申し込んだ場合)
入院 病気、不慮・交通事故 による時	継続して2日以上入院 (1回の入院につき 120日まで保障)	1日につき 1,750円	1日につき 1,800円
手術 病気、不慮・交通事故 による時	診療報酬点数 1,400点以上 5,000点未満	12,500円	5,000円
	5,000点以上 15,000点未満	25,000円	10,000円
	15,000点以上	50,000円	20,000円
死亡	交通事故	200万円	300万円
	不慮の事故	160万円	160万円
	病気	80万円	80万円
後遺障害 ※高度障害の保障 のみとなります。	交通事故	200万円~1万円	300万円~4万円
	不慮の事故	160万円~8万円	160万円~8万円
	病気	80万円※	80万円※
交通事故 通院	事故日より180日以内に 5日以上通院したとき (1事故につき90日まで保障)	1日につき 200円	1日につき 400円

お問い合わせ

愛知県共済
 For sustainable living

愛知県共済生活協同組合 名古屋市中区古渡町11番33号
 0120-08-5555
 受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝を除く) ※電話番号のかけ間違いには、十分ご注意ください。

詳しくはこちら



申込みはこちら



申込み資格

愛知県内に住んでいるかまたは勤務し、加入申込書の健康告知
 事項に該当しない0歳から74歳までの方
 (健康告知事項に該当される方は、組合にお問い合わせください。告知いただいた
 内容について、確認・審査のうえ、共済契約のお引き受けを決定します。)

となり、地域（ちいき）を守り、支え（ささ）
る存在（そんざい）となっていきたい」と、話（はな）
してゐたのが印象（いんしやう）的（てき）
だった。

私は（わたくし）今回の取材（しゆかい）で、ホテ
ルが単（たん）なる泊（とど）まる場所（ばしょ）だけ
でなく、地域（ちいき）の人（ひと）を守り、
支え（ささ）える場所（ばしょ）になってゐること
を知（し）った。大変（たいへん）な状況（じやうきやう）
中（なか）でも、誰（だれ）かを助（たす）けようと
する気持ち（きもち）が地域（ちいき）を前（まえ）に進（すす）
める力（ちから）になる。私は（わたくし）災害（さいがい）が
起きた時（とき）に困（こま）っている人（ひと）に
寄り添（よ）い、力（ちから）になれる大人（おとな）
になりたい。

ぼくたちの
未来にどう
関わるの？



豊かな暮らしを支える 未来を拓く

ファインセラミックス



ファインセラミックスを知っていますか？

用途がどんどん広がっている素材で、地球にも人にもやさしく、無限の可能性を秘めており、「夢見る素材」と呼ばれています。

- Case1 -

車の環境負荷を減らす

自動車の環境負荷の低減にも役立っています。排ガス中に含まれ、大気を汚す原因になる粒子状物質(PM)を取り除くフィルターもそのひとつです。高温、爆風となる排ガスの通り道に設置するために、高い耐熱性や強度が求められますが、ファインセラミックスなら対応できます。



ファインセラミックス ってどんなもの？

▶セラミックスとは、ねんど等の自然材料を焼き固めた陶磁器などのことです。それに対し、精製または化学的に合成した原料で、精密にコントロールして作られるのがファインセラミックスです。

▶大きな特徴は、粒子が均一であり、マイクロメートル/ミクロン(千分の1ミリ)～サブミクロン(1万分の1ミリ)単位の細かさのため、複雑な形も作りやすいことです。また、ほしい特性や機能を持たせることが可能で、「熱に強い」といったセラミックスの性質に加え、「硬い」「軽い」など、種類ごとの特性を持っています。

▶スマートフォンやタブレット、パソコン、ゲーム機や家電、腕時計、文房具、車など、身近な製品にも使われています。多くの電子機器に必要な「半導体」を作る装置にも欠かせないもので、人工歯や人工骨など、医療分野でも活用されています。



- Case2 -

モノづくりの進化に貢献

様々なモノづくりを進化させており、一例が、極小の穴を持つファインセラミックスに液体を通すことで微細な泡を作る方式の「ファインバブル発生器」。力も熱も加えないためデリケートなものにも使え、部品洗浄や材料加工、薬品等の製造・開発など、幅広く活用されています。

※直径が100マイクロメートル(10分の1ミリ)より小さな泡のこと。



可能性に挑戦する研究拠点

「ファインセラミックスセンター」

生活や産業に浸透し、地球規模の課題解決にも期待される素材——そんなファインセラミックスの研究・評価・試験を担うのが「一般財団法人ファインセラミックスセンター(JFCC)」です。研究開発力と技術をみがきながら、モノづくりに一層役立ち、社会に貢献することをめざしています。

一般財団法人 ファインセラミックスセンター

〒456-8587 名古屋市熱田区六野二丁目4番1号

◆TEL/052-871-3500(代)

◆FAX/052-871-3599

◆E-mail/techsup@jfcc.or.jp

https://www.jfcc.or.jp

- Case3 -

エネルギー分野や 宇宙でも活躍

スマートフォンやゲーム機、自動車などを動かすために繰り返し充電して使える「リチウムイオン電池」。水素と酸素から電気を作る「燃料電池」。そうした環境・エネルギー分野でも、さらに小惑星探査機「はやぶさ」などの宇宙開発や、深海での地震観測でも活躍しています。



なんでも技術で
変えていく

NGK



日本ガイシは
NGKへ

クロコくん



時代をノリこなせ!
ノリタケ。

日本初のディナーセットの製造・販売からはじまったノリタケ。

その技術に応用し、発展させながら、

電子・半導体分野など、つぎつぎと新しい分野にノリだしていく。

その時々直面する難問や、世の中が抱える課題とじっくり向き合いながら、

諦めず、見過こさず、ノリ越えていく。

世の中がどれだけ変化しようとも。

ノリタケは、たゆみない挑戦と進化しつづける技術力で、

時代を軽やかに、前向きに、ノリこなしていきます。

Noritake

ノリタケ株式会社 <https://www.noritake.co.jp>



特殊な発想で
未来を輝かせる。

日本特殊陶業は、Niterra日本特殊陶業に。

Niterra
日本特殊陶業

KDDIが展開するドローンポートが能登半島に設置された。
災害時の対応の迅速化などに期待が高まっている。



KDDI株式会社
渉外・広報本部 政策調整部
アシスタントマネージャー
戸口 椋介さん

こうした現状を受けて、
携帯電話事業などに取り組む
通信会社KDDIが立ち

石川県能登半島で起きた
地震・豪雨で見えてきたド
ローンポートの役割につい
て、KDDI 渉外・広報本
部政策調整部のコアスタッ
フ、戸口椋介さん（33）に
話を聞いた。

能登半島地震・奥能登豪
雨では発生当時、道が寸断
されて消防車両が通れな
かった。そのため、消防署
員は救助に歩いていったそ
うだ。途中、家屋は倒壊
し、電線も切れてしまっ
て、携帯電話の電波も届
かなかった。被害の状況を
知るためには、時間をかけ
てでも、歩いて現地に行
くしかなかったという。



私のドローンのイメージ
は飛ばして遊ぶものだった

上がり、ドローンポート
を石川県に展開した。KDDI
が取り組むドローンは
モバイル通信を活用して
どこからでも遠隔操作
ができる。ドローンポート
とはドローンが帰ってくる
専用の基地のことで、KDDI
と石川県が協力して、
現在は県内12か所に設置
しているという。

災害対応に最先端技術を生かせ AI搭載のドローン活用に挑む



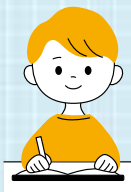
古川 福弥記者

が、そうではなく、アナウ
ンス機能やカメラ機能など
が搭載されていて、空から
の画像をスマートフォンで
確認することもできる。暗
くても撮影ができるので、
こうした機能を使って、夜
間にアナウンスをして避難
誘導などができるのは、す
ごいことだと思った。実
際、石川県庁では、奥能登
豪雨で被害を受けた道路な
どの現場の確認に使ったそ



高性能ドローンで素早く災害現場を映像で調査し被災情報を把握します

うだ。
ドローンを使えば、歩い
ていけば何時間もかかるよ
うな場所でも、空からの視
野で被害を確認して、記録
することができる。災害時
だけでなく、普段でも活用
できそうだ。KDDIでは
今後、ドローンによる荷物
の運搬も検討しており、そ
れができれば、大幅な時間
短縮になるという。
南海トラフ地震は、いつ
来るかわからない。ドロー
ンポートなどを活用して、
万全な体制で備えないとい
けないと思った。



興味をもった会社について調べてみよう

例)「防災」のどんなテーマに取り組んでいるかなど。

奥能登では震災や豪雨の後、デジタルライフラインの活用が進化している。
ドローンポートの設置など、全国に先駆けた取り組みが始まっている。



石川県 デジタル推進監室
兼能登半島地震復旧・
復興推進部 主幹
竹本 太郎さん

もしも大地震が起きて、道路がバラバラに壊れてしまったら、消防車や救急車は現場へ行くことができない。人が近づけない危険な場所で困っている人をどうやって見つければいいのか。そんな時、私たちの代わりにいち早く空へ飛び立ち、命を救う道しるべになる「新しい仲間」が開発された。KDDIのドローンポートだ。石川県輪島消防署の屋上など、石川県内の12か所に設置されている。今後のドローンポートの活用や役割について、石川県デジタル推進監室の主幹、竹本太郎さん（42）に話を聞いた。

設置されたドローンは、災害が発生した瞬間に東京から遠隔操作で前進させ、どこが危険なのかなどをすぐに把握できる。まさに最先端のデジタル技術だ。安全に飛ばすには電気が必要になるため、電源設備がある役場や、地域の防災拠点である消防署などが選ばれた。石川県内12か所のうち、4か所が消防署だ。

なぜ、ドローンなのか。それは人間の足では何時間かかる場所に、あっという間に空からたどり着けるからだ。能登半島地震の時も、このドローンポートがあれば、崩れた道路の様子を撮影することができ、「どこを通れば助けに行けるのか」がすぐに分かる、多くの住民を救えたのではないかと、という。竹本さんは「石川県では、災害だけでなく道路や河川、ため池など、部局を横断した点検作業などに活用していった

ドローンは空から命を救う「ヒーロー」？ 消防署に設置された最新デジタル技術



養島 光和乃 記者

い」と話した。
価格や技術の壁など解決するべき課題はたくさんあるが、ドローンの設置や活用

最新のデジタル技術と「みんなを守りたい」という人の優しさがあわさったとき、ドローンはただの機械ではなく、私たちの命をつなぐ「ヒーロー」になると私は思った。



- 各所属が撮影した動画、画像データ、3Dデータ等を地図にプロット
- 組織横断でデータを確認可能
- 時系列でデータを蓄積

住民救出に役立つ地図上で把握でき共有が可能なビューアー



地元(地域)の被災状況を調べてみよう。

例) 避難所の確認、震災時に困ることなどを話し合ってみよう



名古屋市立
八社小学校 6年
藤田 絵珠莉さん



清須市立
新川小学校 6年
古川 福弥さん



— 今回取材した子ども記者達 —



名古屋市立
八社小学校教諭
神谷 陽子先生



各務原市立
鵜沼第三小学校 6年
打田 茉莉南さん



蟹江町立
学戸小学校 6年
平川 空さん



豊橋市立
松葉小学校 6年
近藤 愛柳さん



岡崎市立
緑丘小学校 6年
林 良磨さん

石川県輪島市の
ホテルルートイン輪島にて

子ども新聞 プロジェクト2026



刈谷市立
富士松北小学校 6年
我妻 月華さん



豊田市立
畝部小学校 6年
伊藤 汐里さん



岐阜市立
長良西小学校 6年
蓑島 光和乃さん

あなたには何が できるか？

誰一人として同じ人はいない。経験してきたこと、大切にしているもの、仕事や立場、暮らす地域も一人ひとり違う。だからこそ、できることも違う。

アイリスオーヤマの重石さんは、高校3年生になる年に東日本大震災を経験した。被災した人の「こんなものがあつたらいい」という声を聞き、生活者の視点を商品づくり

に生かしている。その姿勢を「すごいことだ」と感じた子ども記者がいた。「ペットは家族の一員」と考えた記者もいた。大切にしているものが違えば、必要な備えも違ってくる。

高知県のホームセンター「フタガミ」の楠瀬さんは、新聞の読者投稿欄で「何を備えたらよいか分からない」という困りごとを知り、「ホーム

センターとしてできることはないか」と考えた。それが出張防災セミナーのきっかけとなった。家まで出て向いて家具の固定を手伝うこともあるという。会社の規模や地域との関わり方が違えば、生かせる強みも違う。

能登では、100年以上続く和ろうそく店の高澤社長が、被災4日後に「必ず建て直します」と宣言した。「希望が持てる



関西大学 社会安全学部 教授
奥村 与志弘氏

1980年生まれ。2008年京都大学大学院修了、博士(情報学)取得。人と防災未来センター(神戸市)を経て、12年に京都大学大学院助教、17年4月より関西大学社会安全学部准教授、22年4月より現職。東日本大震災では政府現地災害対策本部に入ったほか、中央防災会議「防災対策実行委員会」「南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ」委員などを務める。

ニュースを届けたい」という思いからだ。ホテルルートイン輪島の中島さんは、被災者だけでなく、医師や復旧作業に携わる人たちの受け入れた。ホテルが地域を支える場所になることに驚いた子ども記者もいた。

KDDIの戸口さんは通信事業者としてドローンの可能性を考え、石川県の竹本さんは、能登半島地震を経験した県職員として、人が行けない場所の状況をいち早く知るためにその技術を生かそうとしている。子ども記者は「技術」と「みんなを守りたい」という優しさが合わされば、「ドローンは命をつなぐ『ヒーロー』になれる」と表現した。

経験も、仕事も、得意なことも、大切にしているものも、みんな違う。大切なのは、自分の経験や立場から、自分にできることを考え、行動することなのだと思う。子ども記者たちは、東海地域を代表して記者となり、大切なことを伝えてくれた。

あなたには何が
できるだろうか。

小学1・2・3・4・5年生の皆さんへ 全国の小学生が受験する一斉テストにチャレンジしよう!!

日能研 全国テスト

参加
無料

10月25日

小3 小4 小5

国語・算数 各40分

午前の部 10:00~12:10
午後の部 13:00~15:10
※午前・午後いずれかをお選びください。

11月1日

小1 小2

国語・算数 各30分

午前の部 10:00~11:50
午後の部 13:00~14:50
※午前・午後いずれかをお選びください。

11月3日

お近くの
特別会場でも
テストが
受験できます

小1 小2 小3 小4 小5

◆桑名会場(くわなメディアライブ)
◆可児会場(可児市文化創造センター)
◆豊橋会場(豊橋商工会議所)

会場
日能研各教室

同時開催
保護者会

(3・4・5年テーマ)「子どもたちをやる気にさせる日能研の育成システム」

(1・2年テーマ)「日能研の低学年の学び~この時期だからこそ必要な関わりとは~」

お問い合わせは日能研ホームページへ
または各教室までお電話ください。

小学1~3年生の児童・保護者対象

10月12日

2026秋 私立中学へ 行ってみよう会

◆時間...10:00~12:30 ◆会場...金城学院高校
◆参加校...愛知淑徳中学校・金城学院中学校
滝中学校・東海中学校

滝中・東海中・南山中女子部を目指す小学6年生の皆さんへ

11月3日

滝中学校トライアル
◆会場...滝中学校

11月23日

東海中学校トライアル
◆会場...愛知工業大学名電中学校

南山中学校女子部トライアル
◆会場...名古屋国際中学校

10/1(木) 13:00~ 受付開始

◆料金...4科 ¥6,600(税込)
◆時刻...[集合]9:00 [試験開始]9:15 [解散予定]滝13:10/東海13:40/南山女子13:20
●滝中・東海中・南山中女子部の各中学入試問題を完全予想 ●合格可能性評価と学習アドバイス

すべての
お申し込みは
コチラから→



小学生のための
中学受験塾

教室はすべて、安心・便利な駅のそば

名駅校 金山校 千種校 本山校 東山校 一社校 藤が丘校 浄心校 御器所校 新瑞校
植田校 豊田校 刈谷校 岡崎校 勝川校 江南校 一宮校 岐阜校 多治見校

各教室へのアクセス
電話番号・受付時間は、
日能研ホームページで
ご確認ください。→

